



質問する太田議員

法律相談

日時 7月21日(木)

時間 18時30分～

場所 市民会館

第3・4会議室

お問い合わせは
日本共産党議員団まで

電話 824-1181

お知らせ

参議院選挙の本番
に入っていますが、
議会版では公職選
挙法の関係で選挙
のことはお伝えでき
ません。ご了承
ください。



6月市議会で太田議員は介護保険について一般質問を行いました。まず最初に太田議員は8月からの制度改悪について「いよいよ今年の8月から介護保険料の収入認定に今まで含まれていなかつた、遺族年金、障害者年金も含まれるようになります。今まで国民年金だけを対象として年80万円以下で第一段階だった人が、遺族年金も対

象となり第二段階・第三段階に上がる方が出てきます。そして保険料だけでなく、施設における食事代なども一食130円の一日390円の負担から一日650円に上がるなど運動して負担増となっていきます。

今回の制度改定でどれだけの人が対象となるのか明らかにしてください」と質問しました。

寝屋川市は、第1段階から第2段階になる人が7人（うち2名が障害年金）、第2段階から第3段階になる人が500人（うち43名が障害年金）と答えました。太田議員はせめて障害年金対象者だけでも市として負担軽減に取り組むことを再度強く求めました。

次に介護保険料の独自減免制度の創設を求めました。後期高齢者医療制度では9割減免、国保では7割減免があることを示し、介護保険料では第一段階で基準の0・45倍で5・5割減免にしかなつてないことを示して、独自減免制度の創設を求めました。

寝屋川市は、第7期の介護保険計画のなかで課題として検討していくと前向きな答弁がありました。

介護保険料等の算定に 遺族・障害年金の反映について

6月市議会で、太田とおる議員は23日、一般質問に臨みました。介護保険料等の算定に遺族・障害年金の反映が始まるなどについて質問しました。

本会議 一般質問

介護保険料等の算定に 遺族・障害年金の反映が

太田とおる議員が質問



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
072-824-1181
(内線2399)
FAX : 824-7760
No.2808

石本えりな
太秦元町9-2-203
090-8937-1934

太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前川なお
萱島東2-16-11
090-1025-7503



質問する西田議員

子どもの貧困について、寝屋川市における就学援助率、朝食未摂取の子どもについて質問しました。また、子どもの貧困に関する

子どもの貧困については、寝屋川市における就学援助率、朝食未摂取の子どもについて質問しました。また、子どもの貧困に関する

子どもの貧困調査と

実施するよう求めました。

調査については、大阪府が今年に実施することと、大阪市、堺市でも調査をすることから、寝屋川市でも、子どもの貧困に関する調査を

実施していることから、その状況を知らせ、今後も継続して行っていくためには、市からの支援が必要であるとして、補助金を出すことについての考えを質しました。

市は、支援については、他市の実施状況を把握するなど引き続き、効果や課題について調査・研究を進めると答弁しました。

市立保育所は、民営化によって6カ所になりましたが、支援が必要な家庭に対する保育、障害児保育を先駆けて行つてきたことなど、その果たしてきた役割は大きいものがあります。

寝屋川保育運動連絡会から寝屋川市に要望書が提出され、「市立

保育所はどこに入所しても、同じ保育を受けことができる点で保護者の安心感につながっている」と評価され、必要性が訴えられています。そこで、市立保育所の役割、必要性について、市の見解を質問しました。

市は、要保護児童への対応などについては、



石本 えりな

市立保育所は、民営化によって6カ所になりましたが、支援が必要な家庭に対する保育、障害児保育を先駆けて行つてきたことなど、その果たしてきた役割は大きいものがあります。

寝屋川保育運動連絡会から寝屋川市に要望書が提出され、「市立

保育所はどこに入所しても、同じ保育を受けことができる点で保護者の安心感につながっている」と評価され、必要性が訴えられています。そこで、市立保育所の役割、必要性について、市の見解を質問しました。

市は、要保護児童への対応などについては、



職員については、この間の職員削減により、正規職員は半減。特に、保育士、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職。土木・建築技師などの技術職が少なく、仕事の継承ができない状況です。

「職員削減で、職場はもう限界」と声があがっています。職員を育て、事務、技術の継承を進めるためにも、必要な職員を計画的に採用するよう求め、市に質しました。



職員については、この間の職員削減により、正規職員は半減。特に、保育士、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職。土木・建築技師などの技術職が少なく、仕事の継承ができない状況です。

「職員削減で、職場はもう限界」と声があがっています。職員を育て、事務、技術の継承を進めるためにも、必要な職員を計画的に採用するよう求め、市に質しました。

市は、今後の職員採用については、行政課題への対応などに必要な職種や職員数を精査し、適正での確な職員採用を行つていただきたいと答弁しました。

小中学校のプールの一般開放については、引き続き実施に向け検討するよう求めました。

本会議 一般質問

「子どもを守る施策の拡充を

西田まさみ議員が質問

6月市議会で西田議員は市立保育所、子どもの貧困と子ども食堂、市職員の配置、小中学校のプールの一般開放などについて一般質問をおこないました。

市立保育所を守り

保育の継承・拡充を

職員を採用し
職場の活性化と
仕事の継承を

市は、今後の職員採用については、行政課題への対応などに必要な職種や職員数を精査し、適正での確な職員採用を行つていただきたいと答弁しました。

小中学校のプールの一般開放については、引き続き実施に向け検討するよう求めました。

市立保育所は、民営化によって6カ所になりましたが、支援が必要な家庭に対する保育、障害児保育を先駆けて行つてきたことなど、その果たしてきた役割は大きいものがあります。

寝屋川保育運動連絡会から寝屋川市に要望書が提出され、「市立

保育所はどこに入所しても、同じ保育を受けことができる点で保護者の安心感につながっている」と評価され、必要性が訴えられています。そこで、市立保育所の役割、必要性について、市の見解を質問しました。

市は、要保護児童への対応などについては、

職員については、この間の職員削減により、正規職員は半減。特に、保育士、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士などの専門職。土木・建築技師などの技術職が少なく、仕事の継承ができない状況です。

「職員削減で、職場はもう限界」と声があがっています。職員を育て、事務、技術の継承を進めるためにも、必要な職員を計画的に採用するよう求め、市に質しました。

市は、今後の職員採用については、行政課題への対応などに必要な職種や職員数を精査し、適正での確な職員採用を行つていただきたいと答弁しました。

小中学校のプールの一般開放については、引き続き実施に向け検討するよう求めました。